

令和7年度 学校運営方針

富田林市立喜志中学校
校長 鳥羽 真人

1.【教育理念】

「地域から信頼され、『喜志中で学んでよかった』と思える学校をめざして」

2.【教育目標】

「心豊かに、志を持って、意欲的に学ぶ」

3.【めざす生徒の行動目標】（生徒4大目標）

- 「元気にあいさつができる」（元気なあいさつ）
- 「時間を守ることができる」（5分前行動）
- 「もの言わぬものを大切にできる」（そうじ・片付け・整理整頓）
- 「教え愛、助け愛、思い愛、認め愛」（喜志中愛）

4.【重点目標】

（1）「喜志中愛」がある集団づくり・授業づくりの展開

- ①生徒が学びでつながる集団づくり・授業づくり（学習環境・授業規律の確立、指導方法の工夫）
- ②定期テスト、全国学力・学習状況調査、大阪府チャレンジテストなどの結果を踏まえた授業展開
- ③各教科担当で学習課題を常に把握し、学力保障と進路保障を行うため、授業改善に取り組む

（2）生徒との対話を中心にした学校づくりの推進

- ①生徒の見守り（生徒の変化を見逃さず、「対話」を重視した寄り添う指導）
- ②生徒への発信（集会での講話、掲示物の作成、生徒会・学年議会の取組み）
- ③生徒とのコミュニケーション（未然防止・早期発見・早期対応）

（3）支援教育・人権教育・道徳教育などの推進

- ①誰もが取り残されない学校づくり（個別最適な学びや合理的配慮の提供）
- ②安心・安全な学校づくり（自己有用感や自己存在感を感じられる居場所づくり、危機管理）

（4）施設分離型小中一貫教育「喜志学園」における小中・小小連携の推進

- ①中1ギャップの軽減と解消（校種にとらわれない教職員による一貫性のある指導）
- ②多様な小小・小中交流の活発化（連続的な学び、学校・地域行事の精選）

（5）教職員の働き方改革の推進

- ①学校業務の精選や合理化（生活の質や教職人生を豊かにする→生徒への効果的な教育活動を行う）
- ②年間授業時数の見直し（原則として、水曜日を5時間授業かつ会議・部活なし「ゆとりの日」）

（6）生徒・保護者・教職員・地域にとって「魅力ある喜志中」をチーム喜志中で構築

- ①教職員同士のコミュニケーションの重要性（情報共有、報告・連絡・相談）
- ②専門的な人材の活用や関係機関との連携（スクールカウンセラー、子家セン、こども未来部）